

# 平成30年度（一社）栃木県老人福祉施設協議会事業計画

## 1 基本方針

社会福祉制度改革においては、経営のガバナンス強化、事業運営の透明性の確保や地域における公益的取り組み、主体性をもった自立的な経営などが求められています。さらに、今年度の介護報酬改定は、団塊の世代が後期高齢者になるとされている2025年を迎えるにあたり、地域包括ケアシステムの推進に向けた医療ニーズへの対応や連携、自立支援、重度化防止などに重点をおいた改定であります。

栃木県老人福祉施設協議会では、様々な観点から会員施設・会員事業所への最新情報を提供しつつ、安定的な経営に必要な視点を会員同士が共有し、反映できるよう活動を強化してまいります。具体的には、会員ニーズをふまえた体制強化として、介護報酬改定後の影響分析とその課題、介護人材の確保・育成、高品質サービスの向上、介護ロボット・ICT等の活用、地域共生社会の実現に向け、地域の課題と向き合う施設・事業所の取り組み促進等、また地域における実績ある社会資源としての施設・事業所を更に周知徹底し、存在感を発揮した組織づくりに邁進いたします。

今、私たち介護福祉施設は社会の変化に対応した柔軟な実践活動が期待されています。そのために専門分野の研究・検証、ならびに研修、広報戦略による情報発信をし、「活動の見える化」栃木県老人福祉施設協議会として、さらなる行動実践をいたしてまいります。

## 2 重点課題

- (1) 最新情報の提供
- (2) 介護報酬改定後の影響分析・対応
- (3) 介護人材の確保と定着、育成、とちぎ介護人材育成認証制度の普及
- (4) 福祉、介護サービスの質向上
- (5) 介護ロボット、ICT等の活用
- (6) 関係機関、地域社会等との連携・協働の強化
- (7) 広報活動と地域の公益的取り組みの一体化した展開（情報収集・共有・分析・発信）
- (8) 会員施設の地域への認知向上
- (9) 地域包括ケアに向けた取り組みの促進
- (10) 一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会組織の基盤強化

## 3 具体的な活動

- (1) 理事会の適宜開催、及び監事監査の充実を進める。合わせて各部会、各種委員会からの事業計画に基づき、計画的に活動を支援・展開する。
  - ・総会 1回
  - ・理事会 6回程度
  - ・監事会 1回
  - ・正副会長会 随時
  - ・施設長会議 随時
  - ・部会・委員会 別紙各部会・委員会提出の事業計画による

#### 諸会議等への参加

- ・ 栃木県、宇都宮市への社会福祉に関する要望提出（8月）
- ・ 栃木県介護人材確保対策連絡調整会議への参加
- ・ 栃木県認知症対策推進会議への参加
- ・ 栃木県高齢者支援計画策定部会への参加
- ・ 宇都宮市地域包括ケア推進会議への参加
- ・ 第75回 全国老人福祉施設大会（北九州大会／11月20日～21日）
- ・ 全国老人福祉施設研究会議（北海道会議／10月30日～31日）
- ・ 関東ブロック代表者会議
- ・ 全国老人福祉施設協議会関東ブロックカントリーミーティング in 新潟（未定）
- ・ 第54回 関東ブロック老人福祉施設研究総会（千葉県／9月11日～12日）
- ・ その他

#### (2) 研修会の実施

- ・ 経営戦略セミナー
- ・ 人材確保、定着、育成研修
- ・ 看取り、緩和ケア研修
- ・ 地域包括ケアシステム
- ・ 人事、労務管理研修
- ・ コンプライアンス、リスクマネジメント研修
- ・ トップ、ミドルリーダー研修
- ・ 新人職員研修、フォローアップ研修
- ・ 安全運転講習会
- ・ 各種研修会
- ・ 栃木県看護協会との共催研修
- ・ その他、各部会との連携による研修会

#### (3) 施設職員福利厚生事業

- ・ 栃木県介護職員合同入職式
- ・ 従事者表彰の実施
- ・ 施設職員交流バレーボール大会の開催（宇都宮市河内体育館／9月30日）
- ・ 茨城県・栃木県老施協職員交流バレーボール大会（栃木県主催／11月24日）
- ・ その他

#### (4) 広報啓発事業

- ・ 第10回「介護の日」フェスティバル in けんちょうの開催（11月10日予定）  
（県民への福祉業界の魅力発信および周知活動）
- ・ ホームページの充実・強化（当協会の見える化、魅せる化）
- ・ その他

#### (5) 委託事業

- ・ 介護人材参入促進事業（高校教員を対象とした職場見学・セミナー）
- ・ 介護人材キャリアパス支援事業（小規模事業所資質向上研修）